

# CARLOS

オリヴィエ・アサイヤス監督のアクション巨編  
(上映時間5時間40分)

伝説のテロリスト  
“カルロス”  
銃と女を愛し、  
革命を夢見た男の  
栄光と挫折の物語

Beauties presents

## WEEKEND CINEMA Vol.4

カルロス第1部、第2部、第3部

2015年10月16日(金)・17日(土)・18日(日)

会場 アンスティチュ・フランセ東京“エスパス・イマージュ”(飯田橋)



VALERIA 協力:映画酒場編集室

ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー生誕70周年記念

## DIE EHE DER MARIA BRAUN

マリア・ブラウンの結婚  
—ニュープリント版



## MARTHA

マルタ



## LOLA

ローラ

Beauties presents

## WEEKEND CINEMA Vol.3

ファスビンダーと美しきヒロインたち

2015年9月25日(金)・26日(土)・27日(日)

会場 アンスティチュ・フランセ東京“エスパス・イマージュ”(飯田橋)



VALERIA 協力:映画酒場編集室

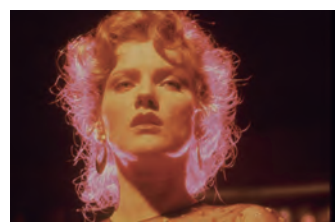
# Beauties presents WEEKEND CINEMA Vol.3

## ファスビンダーと美しきヒロインたち



『マリア・ブラウンの結婚』  
1979年/120分/カラー/35mm ニュープリント  
監督：ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー  
出演：ハンナ・シグラ  
クラウス・レーヴィツチュ

第二次世界大戦中に結婚し敗戦後行方不明となった夫ヘルマンへの一途な愛を貫きながら、アメリカ兵ビルや実業家オスヴァルトと懇ろになり富を築き上げていくマリア。それから10年、突如姿を現したヘルマンの前に彼女は衝撃的な事実を知る……。敗戦後の西ドイツ戦後史をファスビンダー流に描きながら、ひとりの女性の自己犠牲をテーマにした究極の“愛”の物語。マリア役を熱演したハンナ・シグラは、本作でベルリン映画祭銀熊賞を受賞した。



『ローラ』  
1981年/115分/カラー/35mm  
監督：ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー  
出演：バーバラ・ズコヴァ  
アーミン・ミュラー＝シュタール

戦後の建設ブームに湧く1950年代末のとある地方都市。生まじめな建設監察官フォン・ブームと、彼が一目で恋に落ちたナイトクラブの歌姫で娼婦のローラをめぐる、コメディ的要素の強いメロドラマ。スタンバーグの名作『嘆きの天使』(1930)に着想を得て製作された本作は、50年代ハリウッドのテクニカラー映画を思わせる色鮮やかな画面が印象的。尊敬するダグラス・サークの作品を思い起こさせる一作。



『マルタ』  
1975年/112分/カラー/35mm  
監督：ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー  
出演：マーギット・カステンゼン  
カールハインツ・ペーム

世間知らずなブルジョワ娘と、彼女を抑圧し嫉ようとするサディスティックな夫。美しい夏の湖畔を舞台に、夫婦間の激しい抑圧関係を描いたサイコホラー。撮影監督ミヒャエル・バルハスによる映像美と甘美なクラシック音楽が、一組の夫婦に起こる“愛”と“抑圧”の不可思議な関係を辛辣に映し出す。また本作は、作家コーネル・ウールリッヒの短編と似ていると指摘され、製作後に改めて映画化の権利を獲得した。

### 《上映スケジュール》

9月25日 [金]	11:00 マリア・ブラウンの結婚	13:30 マルタ	15:45 ローラ	19:15 ※終了後トークあり マリア・ブラウンの結婚
9月26日 [土]	11:00 マルタ	13:30 ローラ	15:45 マリア・ブラウンの結婚	18:30 ※終了後トークあり マルタ
9月27日 [日]	11:00 ローラ	13:30 マリア・ブラウンの結婚	16:00 マルタ	

### 《トークイベント》

- 9月25日 (金)  
19:15『マリア・ブラウンの結婚』上映終了後  
猫沢エミさん (ミュージシャン・文筆家) トーク  
「ファスビンダー映画のなかの女性たち」(30分程度)
- 9月26日 (土)  
18:30『マルタ』上映終了後  
五所純子さん (文筆家) トーク  
「ファスビンダー映画を語る」(30分程度)

### ◆新刊情報

『ファスビンダー、ファスビンダーを語る』第2・3巻  
ローベルト・フィッシャー編、明石政紀訳、boid刊、定価 (本体5,500円+税)  
いまでも多くの映画作家に影響を与え続けるファスビンダーの一大インタヴュー集、ついに完結！ 映画監督として新しい段階へ踏み出した1970年代から亡くなる直前まで。その活動のすべてをありのままに語る。  
※第1巻も好評発売中！



### 映画配信サイト

## Beauties

8月5日オープン!

第1回配信 “フレンチ・フィーメール・ニューウェーブ”

Beauties (ビューティーズ) ……ヨーロッパを中心とした選りすぐりの作品を配給しているマーメイドフィルムが、選び抜かれた映画作品を一本一本大切にご紹介していきます。配信第1回は“フレンチ・フィーメール・ニューウェーブ”と題して、注目のフランス人女性監督による3作品を御紹介します。劇場公開後DVD化もTVオンエアもしていない3作品です。1作品350円で2日間10回まで再生可能です。お手持ちのモバイル、PCで高画質な映像でお楽しみいただけます。http://beautiesweb.com

- 『グッバイ・ファーストラブ』(監督ミア・ハンセン＝ラブ)
- 『スカイラブ』(監督ジュリー・テルビー)
- 『ベルヴィル・トーキョー』(監督エリーズ・ジラル)



Beauties presents WEEKEND CINEMA は、配信サイト Beauties と連動した映画上映会です。上映と共にさまざまなゲストによるトークショーも行い、映画の美しさ、楽しさ、感動をお伝えします。劇場で、オンラインで、ぜひご堪能ください。(※後日トークショーの様子も動画配信予定) 連絡先 マーメイドフィルム TEL : 03-3239-9401

# Beauties presents WEEKEND CINEMA Vol.4

## 『カルロス』第1部、第2部、第3部



『カルロス』  
2010年/計340分/カラー/デジタル  
監督：オリヴィエ・アサイヤス  
出演：エドガー・ラミレス  
アレクサンダー・シェアー  
ノラ・フォン・ヴァルトシュテッテン

1970～80年代に世界を震撼させた伝説のテロリスト、イリッチ・ラミレス・サンチェス (通称カルロス) のドラマチックな半生を、史実や報道をもとに描いた超大作。『夏時間の庭』のオリヴィエ・アサイヤスがフランスのテレビ作品として製作した本作は、ヨーロッパ、中東、アフリカと世界を舞台に暗躍したカルロスを主人公に、現代テロリズムの実態を内部から描きだす。

### 第1部 (104分)

1973年～1975年。武装闘争による世界革命への夢を語る青年カルロス。暗れてパレスチナ解放人民戦線 (PFLP) の一員となった彼は、ロンドンでの連続テロ、日本赤軍によるハーグのフランス大使館人質監禁事件など、ヨーロッパ各地でのテロ事件に加担する。フランス警官を殺害し南イエメンに潜伏していたカルロスは、PFLPの命を受け、新たな作戦遂行に動き出すが……。



### 第2部 (112分)

1975年～1978年。ウィーンで開催中の石油輸出国機構 (OPEC) 会議に踏みこんだカルロスたち。PFLPからの指令はサウジアラビアとイランの石油相殺害。閣僚たちを人質にとったカルロスらは多額の身代金を得ることに成功。しかし事件後、単独行動を非難されPFLPを除名されたカルロスは、仲間と新組織を作り新たな活動を開始する。

### 第3部 (124分)

1979年～。世界秩序の変化と冷戦の終結により、いつしか金で様々な組織に雇われるプロの“殺し屋”へと変貌していくカルロス。1990年のベルリンの壁崩壊後、スーダンで怠惰な生活を送る彼の行動をフランス国土監視局 (DST) とCIA 諜報員が狙っていた。仲間を失い、徐々に転落していく彼の運命は果たして……？

### 《上映スケジュール》

10月16日 [金]	11:00 カルロス 第1部	13:00 カルロス 第2部	15:20 カルロス 第3部	19:15 ※終了後トークあり カルロス 第1部
10月17日 [土]	11:00 カルロス 第1部	13:00 カルロス 第2部	15:20 カルロス 第3部	18:00 ※終了後トークあり カルロス 第2部
10月18日 [日]	11:00 カルロス 第1部	13:00 カルロス 第2部	15:20 カルロス 第3部	

### 《トークイベント》

- 10月16日 (金)  
19:15『カルロス 第1部』上映終了後  
五所純子さん (文筆家) トーク  
「映画『カルロス』を語る」(30分程度)
- 10月17日 (土)  
18:00『カルロス 第2部』上映終了後  
坂本安美さん (アンスティチュ・フランセ日本映画プログラム主任) トーク  
「オリヴィエ・アサイヤスと映画『カルロス』」(30分程度)

### ◆既刊情報

『5月の後の青春』  
アリス・ドゥボールへの手紙、1968年とその後』  
オリヴィエ・アサイヤス著、彦江智弘訳、boid刊  
定価 (本体2,200円+税)  
オリヴィエ・アサイヤスの若き日々の現実と思考とが、奔流となって綴られた一冊。ひとりの映画作家が見た1960～70年代フランスの一記録。



【料金】一律800円  
※会員、学生、シニアも問わず一律800円  
※前売券はありません。

【会場】アンスティチュ・フランセ東京 “エスパス・イマージュ” (飯田橋)  
最寄駅：飯田橋駅：JR 総武線、東京メトロ有楽町線・南北線・東西線、都営地下鉄大江戸線  
駅からの所要時間 (徒歩)・JR：西口より7分 地下鉄：B3出口より7分  
問い合わせ電話番号：03-5206-2500 URL：www.institutfrancais.jp/tokyo

